

かみのやま温泉

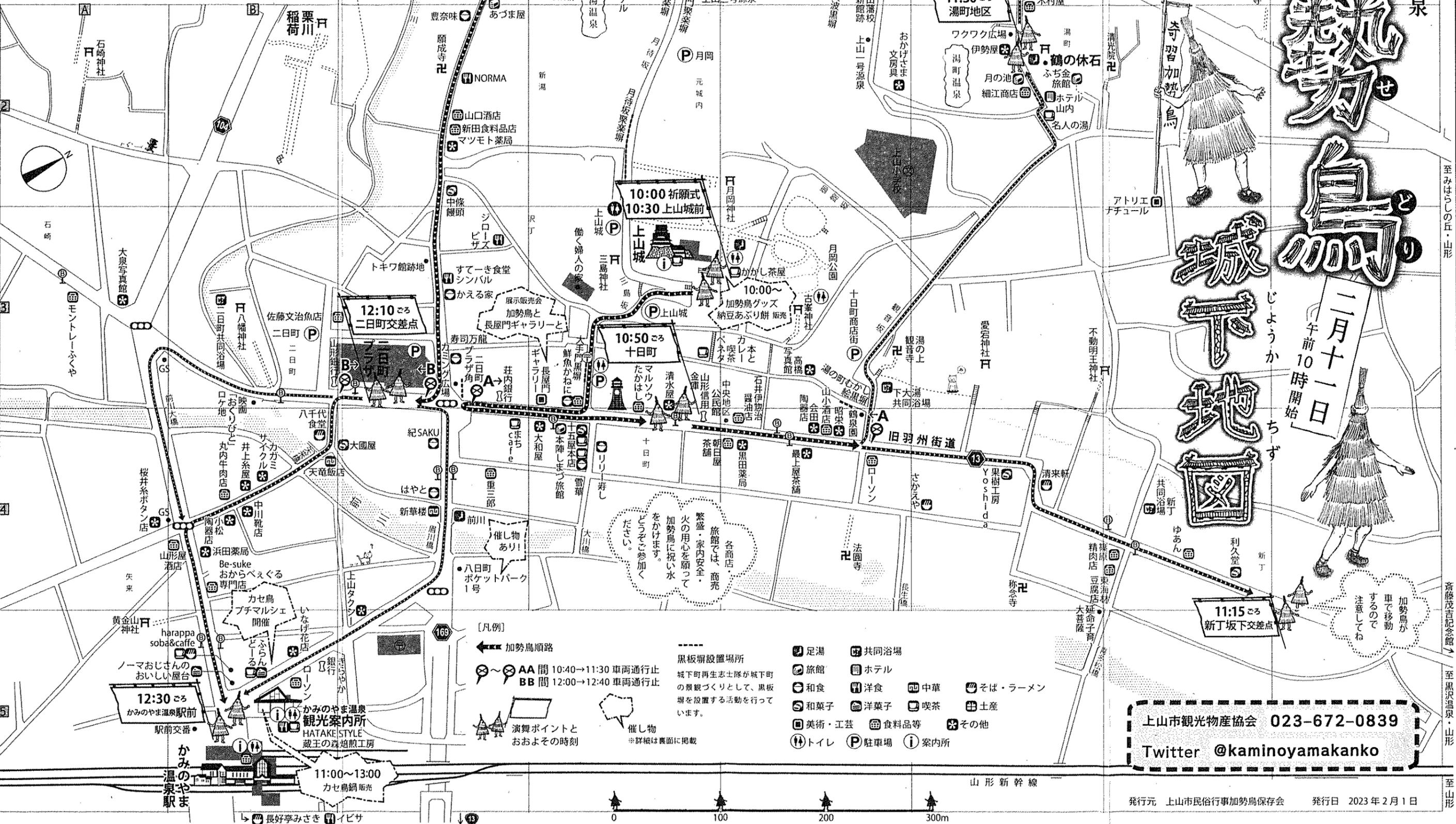
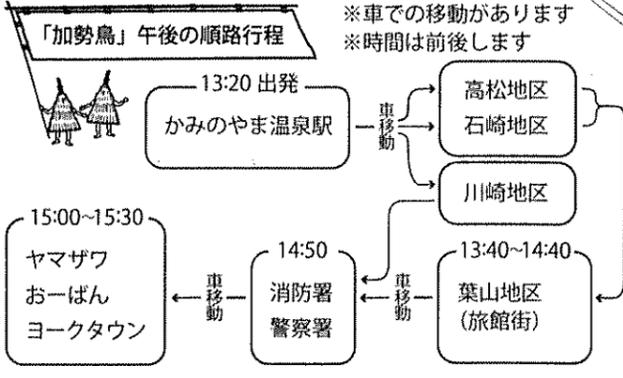
加勢鳥

城下町

二月十一日
午前10時開始



加勢鳥が
車で移動
するので
注意してね



〔凡例〕

← 加勢鳥順路

AA間 10:40→11:30 車両通行止

BB間 12:00→12:40 車両通行止

黒板設置場所
城下町再生志士隊が城下町の景観づくりとして、黒板を設置する活動を行っています。

- 足湯
- 旅館
- 和食
- 和菓子
- 美術・工芸
- トイレ
- 共同浴場
- ホテル
- 洋食
- 洋菓子
- 食料品等
- 中華
- 喫茶
- そば・ラーメン
- 土産
- その他

催し物
※詳細は裏面に掲載

演舞ポイントとおおよその時刻

上山市観光物産協会 023-672-0839
Twitter @kaminoyamakanko

Design: Akiko Kurachi Illustration: Tomiyuki Kaneko

至米沢

至みはらしの丘・山形

至黒沢温泉・山形



加勢鳥

かせどり 由来と歴史

加勢鳥は、五穀豊穡・家運隆盛をもたらす歳神様の来訪行事で、「小正月に遠い土地からやってくる神の声によって一年の豊かさを祝う」という信仰から生まれたと考えられ、「御前加勢」と「町方加勢」が行われていました。御前加勢は、寛永年間に始まり、毎年旧正月の十三日、上山城に昇殿を許された高野村の若衆三人が、御前で加

勢鳥を披露。御殿では新しい手桶と柄杓で加勢鳥に水をかけ、酒と銭一貫文でねぎらいました。一方の町方加勢は、十五日、周辺部の各村から集まった若衆が、商家の連なる町中の門々を歩き回り、出迎える町の若衆は裸になつて手桶の水を争うようにかけ、町人たちは火伏せや商売繁盛を祈願してご祝儀を出し、酒や切り餅を振る舞いました。



「上山見聞團華」付図集（上山市教育委員会発行）

民俗行事「加勢鳥」を支える人々

明治時代、加勢鳥は旧藩時代に重要視された行事として廃止されますが、昭和三十四年に有志が集い、復活させます。昭和六十一年には上山市民俗行事「加勢鳥」保存会が結成され、上山に伝わる貴重な民俗行事が継承されています。「どんぶ」と呼ばれる道具で編みあげる加勢鳥がかぶる「ケンダイ」は、榎下宿で長年製作してこられた故藤藤幸男さんから技術を継承した会員が手作りし、加勢鳥が履く草鞋は、榎下宿の遠藤幸吉さんが一つひとつ手作りしています。他にも、笛や太鼓でお囃子をにぎやかに奏でる上山火勢太鼓振興会など、民俗行事加勢鳥は大勢の方に支えられています。

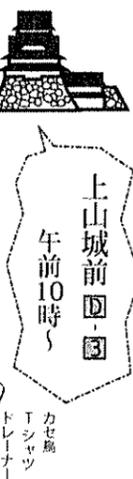


「ケンダイ」は、編まれたもので、重さは4、6キログラム、水を含むと10〜12キログラムになります。



江戸時代の大火の際、火喰い鳥が空を舞い類焼させたように見えたことから、鳥に水をかける加勢鳥には火伏せの意味が込められています。水にあやかっつて水商売の繁盛を願う行事としても大切にされてきました。町の各商店・旅館では、商売繁盛・家内安全・火の用心を願って加勢鳥に水をかけます。どうぞご参加ください。

催し物 2023年2月11日



加勢鳥グッズ

今年も加勢鳥に因り連したグッズを販売します。ぬくもりあふれた商品が販売されます。現行の商品に加え、当日は新商品も限定販売します。お土産にもおすすぬめ！



火の用心 お札

当日火の用心のお札を販売しております。加勢鳥スタッフにお声がけください。



榎下宿名物 納豆あぶり餅

「ばあちゃんずくすくす」のお母さんたちが、手作りの納豆あぶり餅を販売します。香ばしい味、わいは、一度食べるとやみつきになります！ 1本200円（150食限定）

カセ鳥鍋

上山市商工会青年部メンバーが、加勢鳥のイメージにこだわった力作です。なくなり次第終了。お早めどうぞ。1杯500円（150食限定）



観光案内所前

午前11時〜午後1時



八日町ポケットパーク1号

当日雪が積もつていたら、雪遊びができます。参加大歓迎！

まち歩き便利帳

市外局番 023

＊観光案内・タクシー

- かみのやま温泉観光案内所 tel.672-5703 ④-⑤
- 上山市観光物産協会 tel.672-0839 ④-⑤
- 上山タクシー tel.672-1122 ④-⑤
- 観光タクシー tel.672-2325
- 山交ハイヤー tel.681-1515

＊食事処

- 和食**
- ① 蔵戸 tel.609-9206 ④-①
- ② 紀SAKU tel.674-9876 ④-④
- ③ 寿司万龍 tel.672-0320 ④-③
- ④ 鮮魚かねに tel.673-6517 ④-①
- ⑤ 豊奈味 tel.673-4720 ④-②
- ⑥ 名人の湯 tel.673-1832 ④-②
- ⑦ 雪華 tel.687-1128 ④-④
- ⑧ リリー寿し tel.672-0457 ④-④

そば・ラーメン

- ① 一休 tel.672-2062 ④-①
- ② さかえや tel.672-0889 ④-④
- ③ 清来軒 tel.672-0708 ④-④
- ④ 長好亭みさき tel.672-6797 ④-⑤
- ⑤ 味津肥盛 tel.672-3815 ④-①
- ⑥ 八千代食堂 tel.672-0346 ④-④
- ⑦ harappa soba tel.673-2320 ④-⑤

中華

- ① 中華料理 新華楼 tel.609-9537 ④-④
- ② 天竜飯店 tel.672-3309 ④-④

洋食

- ① イビサ tel.673-3034 ④-⑤
- ② ジローズピザ tel.674-0416 ④-⑤

喫茶・菓子

- ① アカリトリノマド tel.080-2813-4381 ④-①
- ② 蔵王の森焙煎工房 tel.616-5655 ④-⑤
- ③ 十五屋本店 tel.672-0169 ④-④
- ④ 中條饅頭 tel.672-0329 ④-④
- ⑤ ノーマおじさんのとってもおいしい屋台 ④-⑤
- ⑥ harappa cafe tel.673-2320 ④-⑤
- ⑦ ふらんどーる洋菓子店 tel.672-7563 ④-⑤
- ⑧ まち cafe tel.090-4557-0509 ④-④

加勢鳥の楽しみ方

「稼ぎ鳥」が語源とされる加勢鳥は、五穀豊穡や商売繁盛を願う民俗行事として古くから親しまれています。



手ぬぐいやタオルを巻く

祝い水をかける



ケンダイ 頭部に新しい手ぬぐいやタオルを巻いて、一年の「家内安全」「商売繁盛」「火の用心」「五穀豊穡」を願います。

加勢鳥のワラ

神の化身である加勢鳥、そのケンダイから抜け落ちたワラは縁起物です。加勢鳥のワラで女兒の髪を結ぶと、黒髪の艶が美人になると言われています。



旧風月堂

カセ鳥プチマルシエ

カセ鳥プチマルシエを開催します。この日しかない商品も、ぜひお立ち寄りください。